

地球は生きている！ (9月3日 九十九里養浜視察に参加して)

【九十九里の砂浜はどうしてできたか？】  
屏風ヶ浦と太東崎が削られて運ばれた土砂と  
夷隅川流域から供給された土砂が海流の流れ  
によって 6000年をかけて形成されたと  
考えられている。



【何故、浜が後退したのか？】

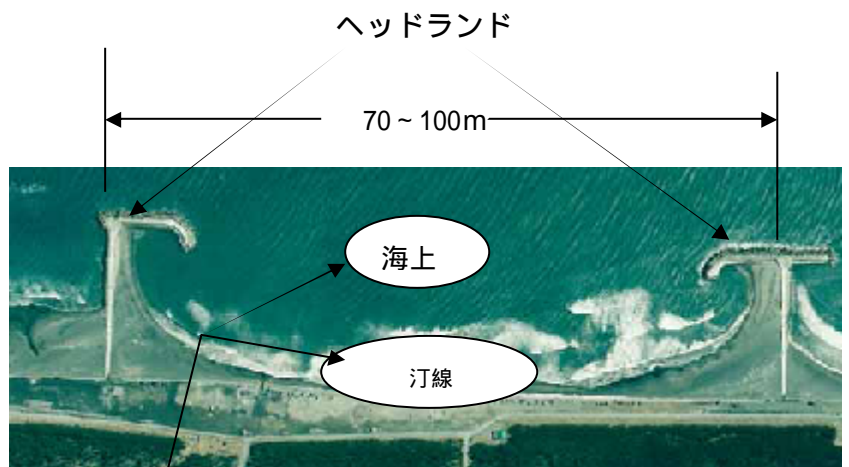


(屏風ヶ浦の崖侵食防止)

屏風ヶ浦と太東崎の崖侵食防止工の設置と夷隅川

流域の河川整備などで土砂の減少などが原因で  
波による侵食が進み(需要と供給のバランス  
がくずれ)過去40年間で汀線が最大100m  
後退している。

【養浜計画って何？】  
ヘッドランドを作り(1983年~  
10基で115億円)さらに海上と  
汀線に土砂を容れるという計画  
です。土砂入れはズーっと続く  
かもしれないとのこと。



(一宮海岸の例)

土砂を入れる



これが ヘッドランドを作った今の九十九里の姿です



(画像などは千葉県県土整備部HPより引用)

今から約 46 億年前に原始地球ができてから、様々に変化し 地球は今ある姿を私たちに見せてくれています。 私たちが都合の良いように変えていけば、それなりにその姿を変えていきます。

私たちが道路を作ったり、人工熱源を作るように、地球も人間の手が入れば、地球が生きて行くために姿を変えていくのだと思います。

九十九里も侵食防止や河川整備をすればそれに合ったように姿を変えてきました。確かに、海岸侵食でそこに住めなくなった人、これから住んでいくことができるか災害などの不安もあるかと思います。

しかし、この次にはどんな姿を見せてくれるのか、今、地球の上でしか生きていけない私たちは、これでいいのか、他に方法はないのか、真剣に考えてみませんか？



S I M

地球と上手く共存したい  
S I Mの独り言でした。

2009 年 09 月 05 日 文責：しむら